

地方自治体における観光振興

2017. 7. 20

金玄鎬 (韓国地方行政研究院)

目次

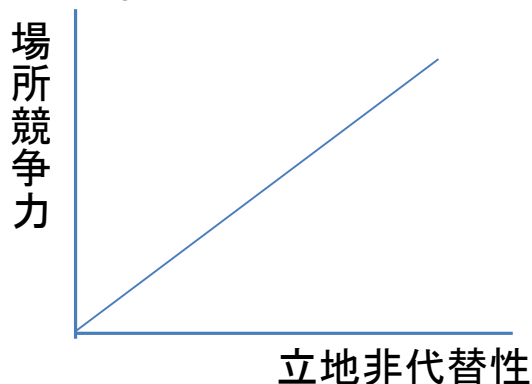
1. 地方自治体における観光振興の重要性の増加
2. 地方自治体における観光振興体制
3. 地方自治体の観光振興事例
4. 地方自治体における観光振興の示唆する点

1. 地方自治体における観光振興の重要性の増加

• Space emptying

- 現代経済の特性 : globalization
- 企業、労働のfoot loosenessの増加
- 経済主体の場所固着性の弱化、喪失
- 揮発性の強化
- 発展地域とそうでない地域の明暗

* place Assetsの競争力



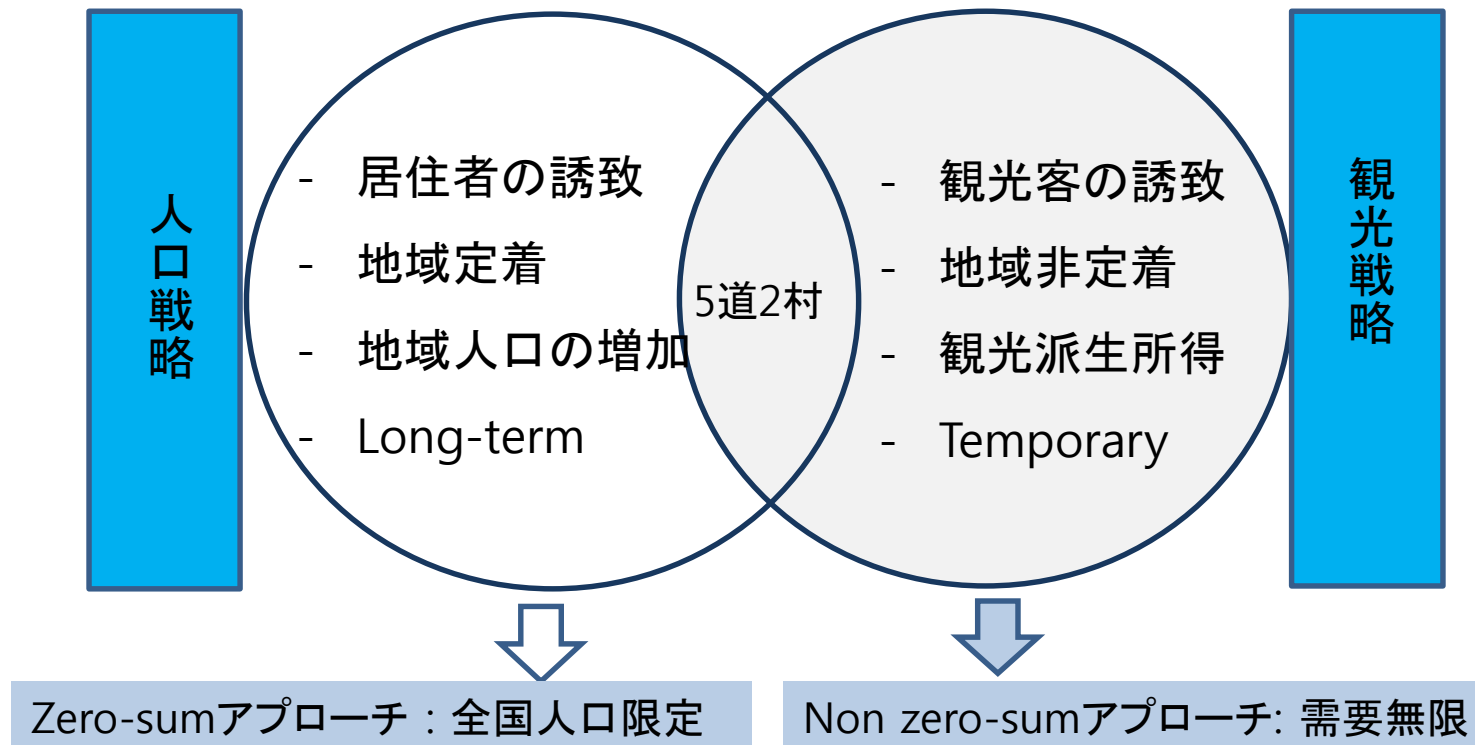
• Place Assets

- 特定の場所の立地非代替性
- 時間の沈殿、生活の堆積物
- 文化、生態、自然的要素など
- Place Embeddedness
- "Beauty Contest"

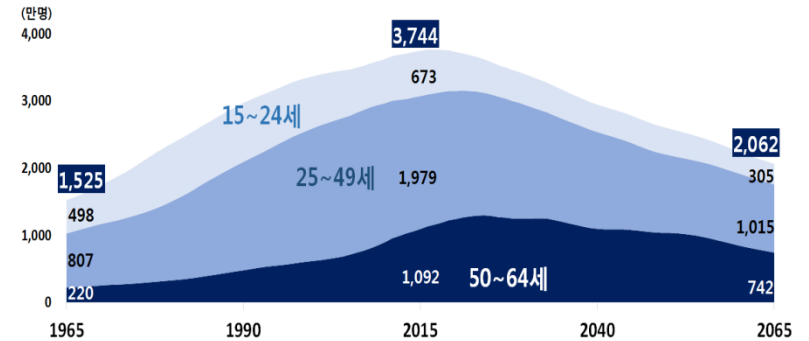
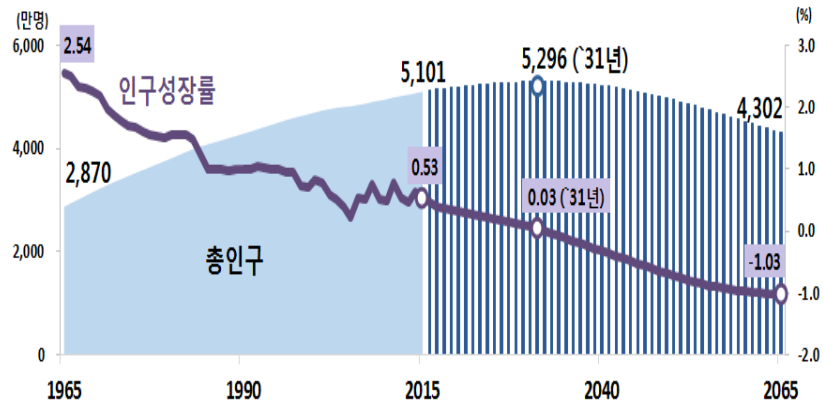
- 人口減少に対応する自治体の活性化戦略の一つとして浮上

- 地域活性化因子の地域誘致：企業、ヒト

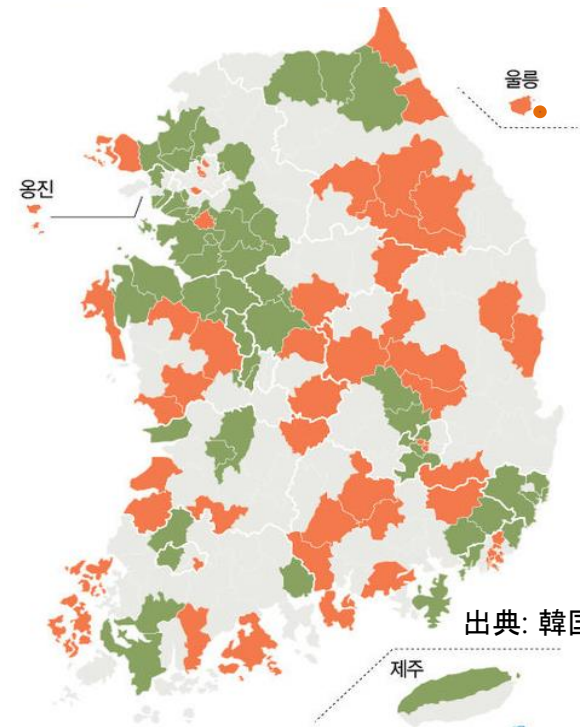
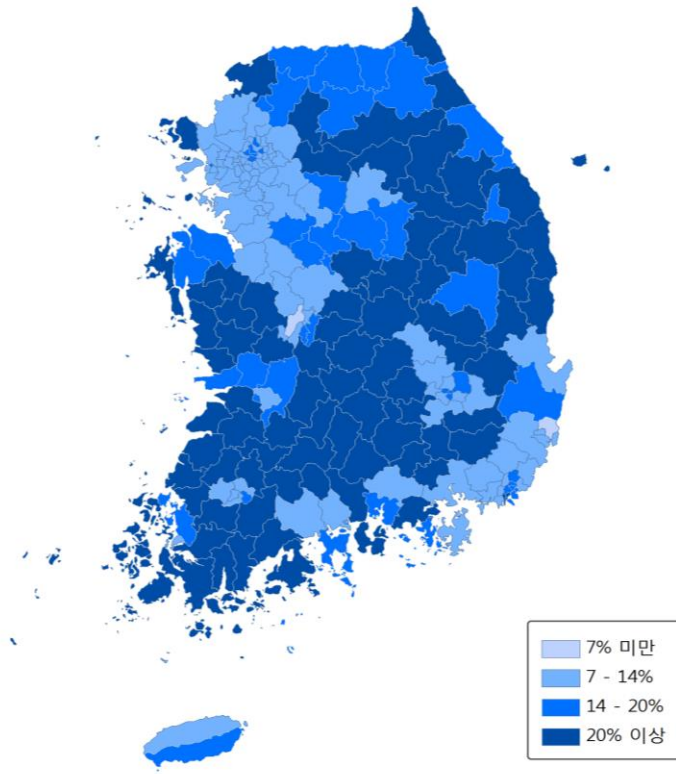
< ヒト誘致戦略の二つの方法 >



< 参考 > 韓国における人口減少の現状及び展望

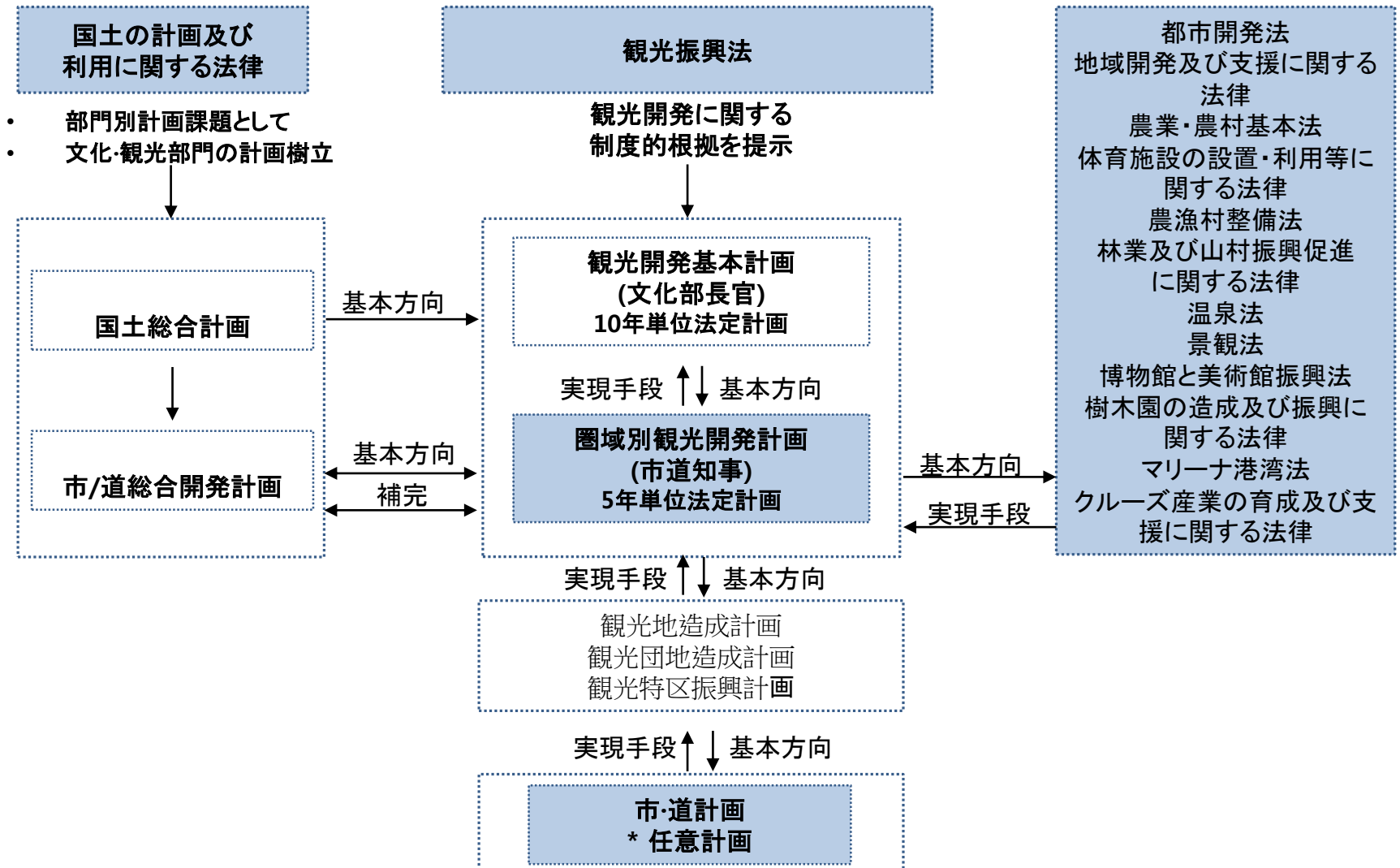


■ 人口減少安定地域 (33市、13郡、12区)
■ 人口減少危険地域 (4市、36郡、17区)



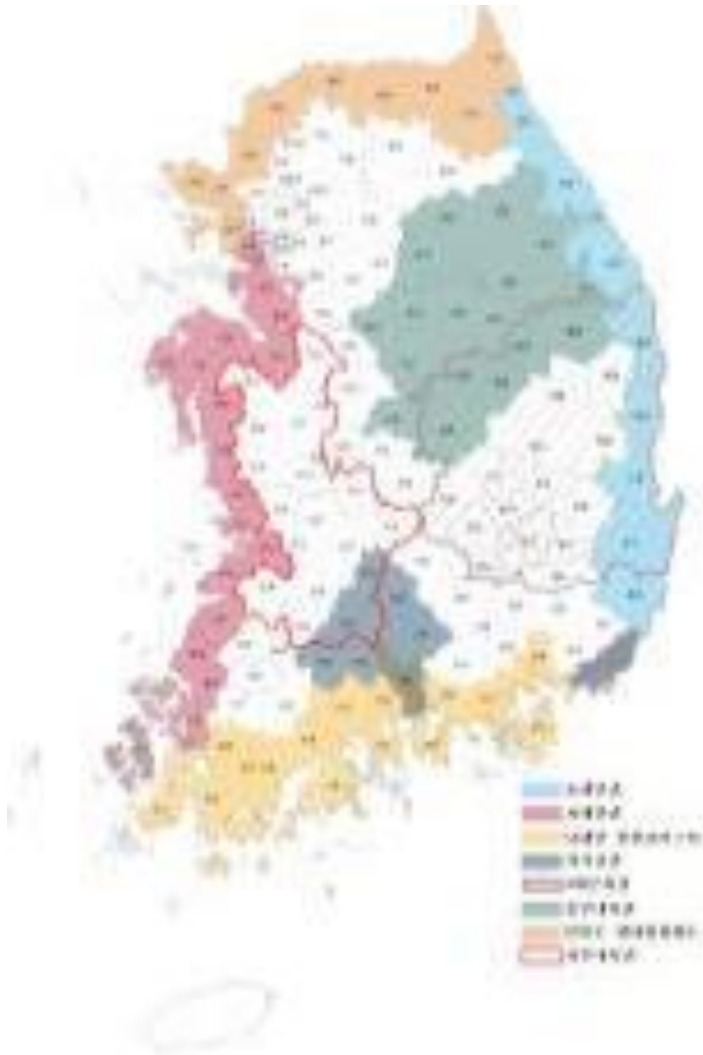
出典: 韓国地方行政研究院

2. 地方自治体における観光振興体制：計画



< 参考 > 広域圏観光開発計画

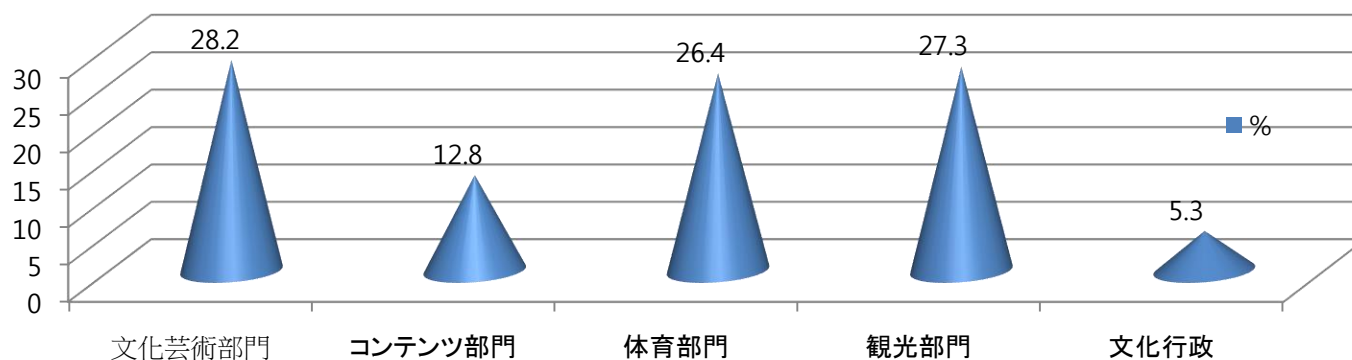
- 歴史文化生態資源を複数の自治体と連携する計画を推進(文化部任意計画)
- '17年2,251億ウォン投資計画予定



事業名	圏域	事業期間	総事業費 (国費)	基地元額 (国費)	17年予算 (事業数)
智理山圏 広域観光開発	全北、全南 慶南	08-17	2,367億ウォン (1,049億)	752億ウォン	91億ウォン (38)
西海岸圏 広域観光開発	京畿, 忠南 全北, 全南	08-17	2兆547億ウォン (2,483億)	647億ウォン	47億ウォン (5)
東海岸圏 広域観光開発	釜山、蔚山 江原、慶北	09-18	2,551億ウォン (781億)	456億ウォン	41億ウォン (3)
南海岸 観光クラスター	釜山, 全南 慶南	10-17	3,904億ウォン (1,444億)	1128億ウォン	26億ウォン (3)
3大文化圏 文化生態観光基盤 の造成	大邱, 慶北	10-21	2兆3283億ウォン (1兆3268億)	6706億ウォン	1696億ウォン (31)
中部内陸圏 広域観光開発	江原、忠北、 慶北	13-22	3,970億ウォン (1,594億)	452億ウォン	147億ウォン (16)
韓半島 生態平和ベルト	仁川、京畿 江原	13-22	2,466億ウォン (1,120億)	371億ウォン	117億ウォン (10)
西部内陸圏 広域観光開発	世宗、忠南 全北	17-26	6,167億ウォン (2,626億)		86.5億ウォン (10)

地方自治体における観光振興に対する国の財源支援

- 文化庁 '17年の総予算は56,971億ウォン
- うち、観光部門は文化庁全体の予算の27.3%である15,538億ウォンを占める



- 観光部門の財源は計1兆5,509億ウォン('16年対比10.1%増)
- 一般及び地域発展特別会計4,930億ウォン、観光基金1兆579億ウォン

(単位：百万ウォン)

区分	2015	2016(A)	2017(B)	増減(B-A)
政府予算	461,764	461,940	493,035	31,095
観光基金	907,430	946,145	1,057,913	111,768
計	1,369,194	1,408,085	1,550,948	142,863

＜ 政府予算 ＞

(単位：百万ウォン)

区分	2015	2016(A)	2017(B)	増減(B-A)	増減率(%)
計	461,764	461,940	493,035	31,095	6.7
＜ 一般会計 ＞	23,336	3,977	1,789	△2,118	△55.0
○ 外来観光客の誘致	23,336	3,977	1,798	△2,118	△55.0
＜ 地特会計 ＞	438,428	457,963	491,246	33,283	7.3
○ 観光振興基盤の拡充	408,508	431,416	454,170	22,754	5.3
○ 観光レジャー都市の育成	29,920	26,547	37,076	10,529	39.7
＜ 観光基金 ＞					

観光外交力量強化
など2事業

3大文化圏生態観光
の造成など10事業

(単位：百万ウォン)

区分	2015	2016(A)	2017(B)	増減(B-A)	増減率(%)
計	907,430	946,145	1,057,913	111,768	11.8
○ 観光振興基盤の拡充	101,736	119,170	168,875	49,705	41.7
○ 観光産業の育成	92,586	90,307	125,915	35,608	39.4
○ 外来観光客の誘致	263,108	236,668	213,123	△23,545	△9.9

国内観光活性化及
び地域観光の改善
など37事業

地方自治体の観光振興に対する政府施策

一般会計 (2事業)

地域発展特別会計 (10事業)

観光開発基金 (37事業)

○ 観光外交の
力量強化

○ 低開発国
観光指導者
VM事業研修
(ODA)

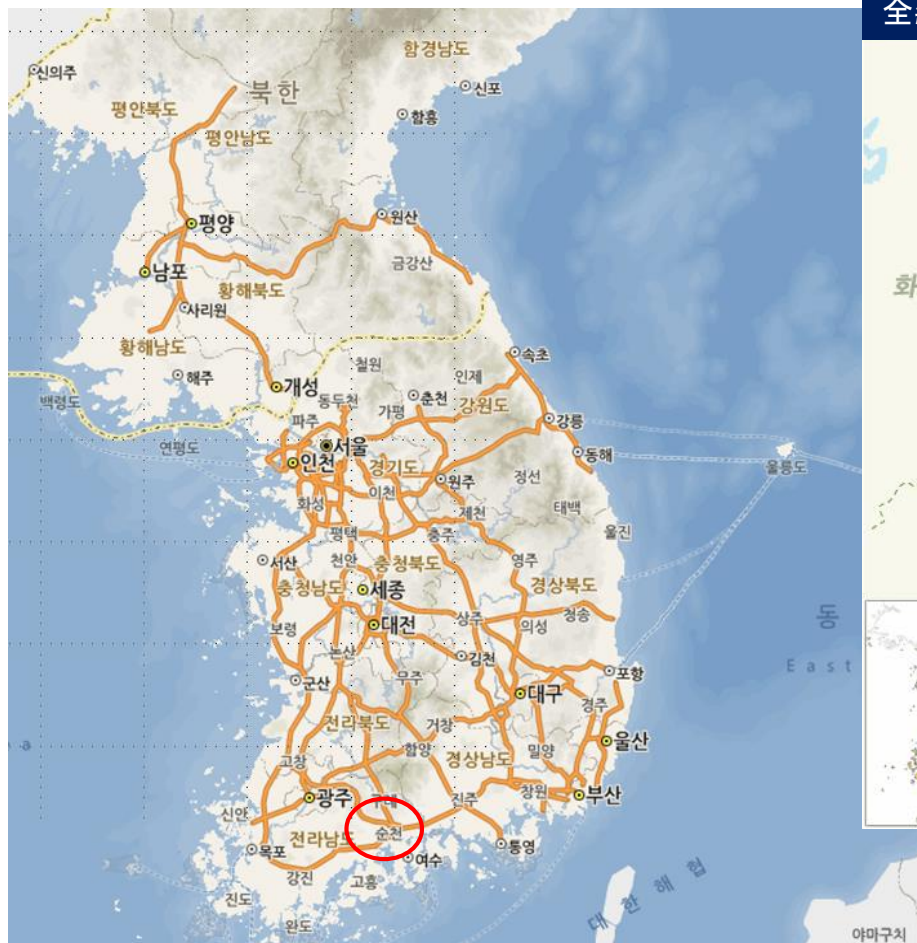
- 観光資源開発(生活)
- 観光資源開発(済州)
- 観光資源開発(世宗)
- 済州観光振興支援
- 3大文化圏生態観光基盤造成
- 中部内陸圏観光開発
- 韓半島生態平和ベルトの造成
- 西部内陸圏広域観光開発
- 企業都市進入道路支援
- レゴランドコリア基盤施設支援

- 廃鉱地域観光商品開発
- 観光特区活性化支援
- 韓国型生態グリーン観光育成
- 観光レジャー基盤構築
- 平昌冬季五輪特区観光開発
- 観光案内体系構築支援
- 文化観光解説士の育成
- 観光活性化基盤構築
- 国民余暇キャンプ場の造成
- 伝統文化体験支援
- 核心観光地の育成
- 文化観光祭り支援
- 工芸観光産業育成
- 韓国観光コンテンツ活性化
- 韓国文化観光研究院運営支援
- 観光専門人材の育成、団体支援
- 国内観光活性化、地域観光改善
- 観光事業創業とベンチャー育成

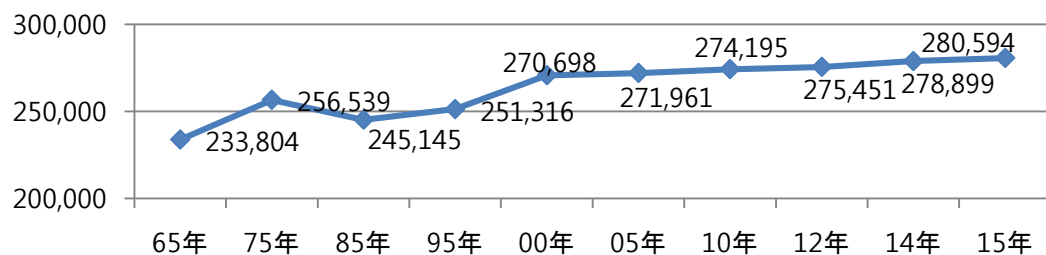
- 都市観光及び産業観光の活性化
- スマート観光の活性化
- 観光サービス革新R&D支援 (R&D)
- 出国納付金徴収委託
- 外来観光客の誘致マーケティングの活性化
- 韓国観光海外広告
- 旅行産業も競争力強化、旅行の利便性
- 韓国観光公社運営支援
- 医療及びWellness観光育成
- MICE産業育成事業支援
- 観光産業活性化映画ロケ支援
- クルーズ観光産業の活性化
- 海外観光文化センターの建立
- 韓スタイル育成支援
- 文化芸術海外交流
- 在外韓国文化院拠点特化事業
- 海外文化芸術ボランティア団(ODA)
- 文化施設の活用外来観光客の誘致
- 観光産業融資支援

単位事業	細部事業	財源		備考
観光資源 開発	・観光(団)地の開発 ・文化観光資源開発 ・生態グリーン観光資源開発 ・国民余暇キャンプ場の造成1) ・伝統韓屋体験宿泊施設の運営支援1) ・観光案内体制の構築1) ・生態グリーン担訪路案内体制の構築1)	生活 基盤 会計	地域 発展 特別 会計	2016年 地域特別会計へ移管
広域観光圏 開発	・東海岸 ・西海岸圏広域観光開発 ・南海岸の観光活性化 ・智理山圏広域観光開発			経済 発展 会計
	・3大文化圏生態観光基盤造成 ・中部内陸圏観光開発 ・韓半島生態平和ベルトの造成	-		
その他	・企業都市進入道路への支援 ・レゴランドコリア基盤施設の造成			
観光基盤 拡充	・廃鉱地域観光商品開発 ・観光特区活性化支援 ・韓国型生態グリーン観光の育成 ・観光レジャー基盤の構築2) ・平昌冬季五輪特区観光開発事業 ・コリアモビリティの構築 ・観光案内体制の構築支援 ・文化観光解説士の育成 ・観光活性化基盤構築 ・国民余暇キャンプ場の造成 ・伝統文化体験の支援	観光振興 開発基金 (補助事業)		地域観光開発事業 性格に見合った事業を選択
観光産業の 育成	・文化観光祭り支援 ・韓国料理観光産業化 ・国内観光活性化及び地域観光改善支援 ・都市観光及び産業観光の活性化			
外来観光客の 誘致	・地域観光の活性化及び調査研究 (自治体シティーツアー支援) ・古宮歴史文化観光商品化			

3. 地方自治体における観光振興事例：全南 順天市



全羅南道順天市



- ビジョン：韓国における生態首都、順天
- 市政目標：庭園を抱えた幸せ都市
- 施政方針
 - ・庭園の都市として蘇る経済
 - ・文化と生態で泊まる観光
 - ・隅々まで伝わる福祉など
- 人口：140,666人



• 地域の背景及び資産

- 順天湾の自然、景観
- 春：青葦、夏：銀葦、秋：金葦
- 沿岸湿地など

• 生態的価値の保全運動のスタート

- 1992年：東川の河道直降化及び浚渫計画
 - *目的 - 洪水の予防、骨材採取、河道整備
- 地域内の環境団体の積極的な反対が浮上
 - *順天YMCAなどが順天湾一帯を湿地生態系の保全地区として指定することを主張
 - *骨材採取、生態系の破壊に関する監査請求
 - *1997年葦祭り、1998年順天湾生態保全のための国際シンポジウムを開催
- 1998年東川整備事業が白紙化

• 生態公園化を推進：2002-2006年

- 民選3期(2002年から)団体長(チョウ・ジュンフン)自然生態公園事業の推進を開始
 - *東川川整備事業のための代案
- 中央政府が推進する南海岸観光ベルト事業への影響：南海岸観光ベルト事業に自然生態公園事業が含まれる
- 2002-2004年：自然生態館を完成
- 順天湾干潟の生態価値を国内外に広報
 - *2003年：順天湾沿岸湿地28km²を湿地保護区に指定
- 2006年1月に順天湾が韓国で初めてラムサール条約に登録

• 庭園博覧会基本計画を樹立

- 民選4期(2007年から)団体長(ノ・グァンギョ)専任市長が環境重視戦略を持続的に推進
 - *2007年にドイツ庭園物語の著者を招待、懇談会を開催
 - >農耕地を作物庭園にする庭園造成を行政機関が学習
- 2008年、庭園博覧会の開催を市場が議会に報告
- ソウル大学に基本計画を依頼・策定
- 2009年、政府(企画財政部)から開催の承認を取得

- 国際園芸生産者協会(AIPH)の開催地を決定、葛藤が噴出

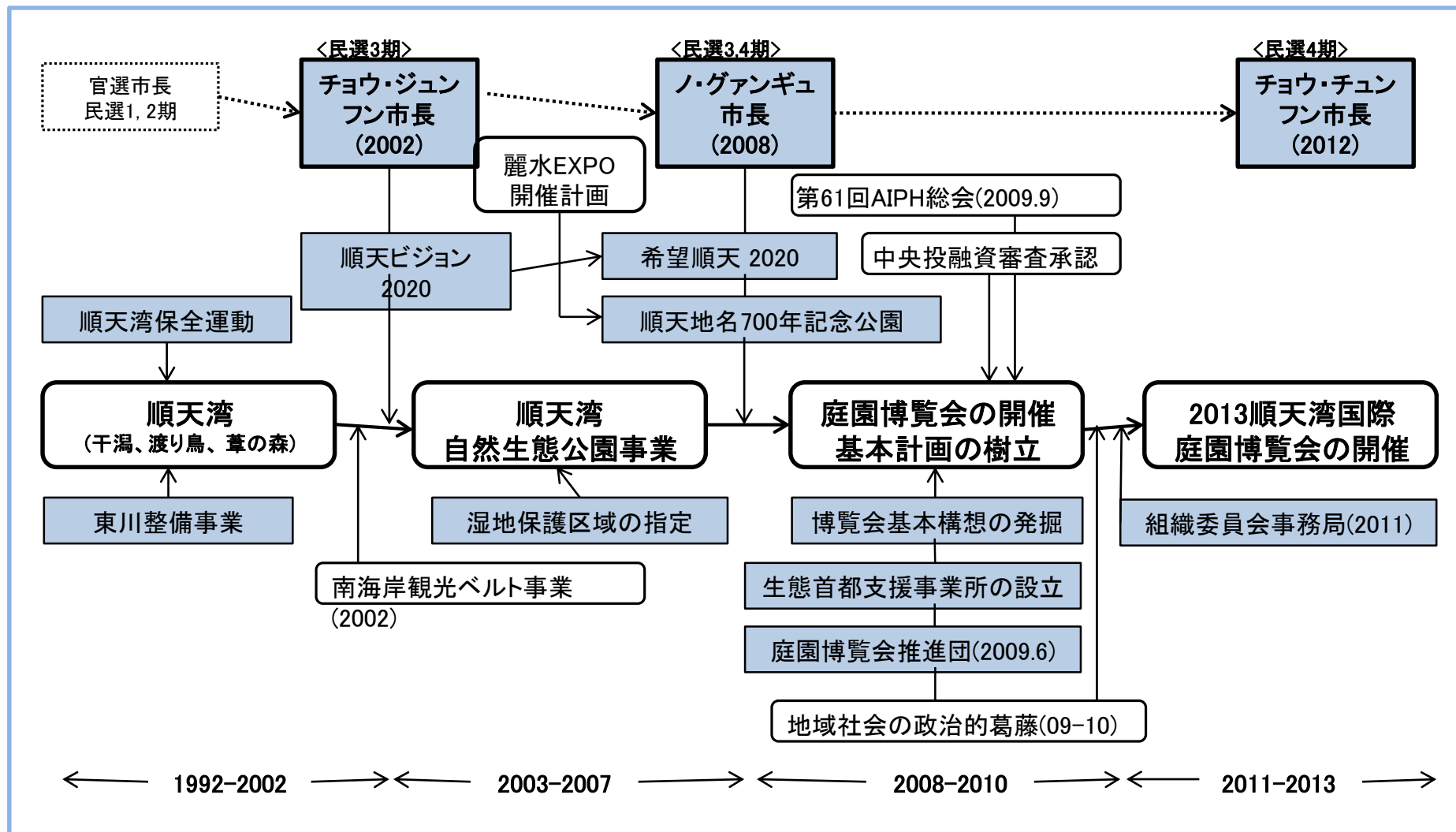
- 2009年AIPHの実査団が順天を訪問 -> 理事会が2013年庭園博覧会の開催地として全南順天市を決定
- 政府支援：農地転用の許可、財政関連投融资の審査、国費支援など
- 地域社会の葛藤が噴出：博覧会の規模を縮小、延期論が登場
- 2010年、順天湾庭園博覧会組織委員会の発起人大会の開催を機に葛藤をまとめる
- * 2011年、組織委員会の事務局を設置

- 2013年庭園博覧化を成功裏に開催

- 2013年4月から10月まで国内外440万人の観光客を創出



〈参考〉 国際庭園博覧会の開催時期の区分



国の庭園指定及び生態首都2020へと進化

- 2015年国の庭園1号に指定

- 2014年、国の庭園に関する法律の改正があり、国の庭園1号に指定
- 庭園の大きさは111万2千m²、サッカー場100個分の空間規模
- 567種、413万の花が咲き、511種、83万7千株を植栽
- * 市民の寄付：市民、団体、町などの寄贈を通じ参加型の庭園づくりを施行

- ド라마セット場による思い出の場所化

- 06年、4万m²の敷地に63億ウォンを投入(照禮洞)
- 60-80年代、ソウル近郊のダルドンネ、順天邑を再編
- 単純な撮影場から思い出と郷愁の場に進化
- * 居酒屋：マッコリ、チヂミの販売
- * 訪問客に当時の制服をレンタル、ダンス場体験など



• 壁画街づくり

- 以前、一人暮らしが居住していた小屋村 - > 高齢化、衰
 - 住民の意見を収集し、新しい壁画街を造成
 - 昔話や美しい童話などの素材を使い擁壁、郵便箱、ドアなどに壁画を描いていった
- *順天湾庭園から5分の距離にあり、連携観光を活性化



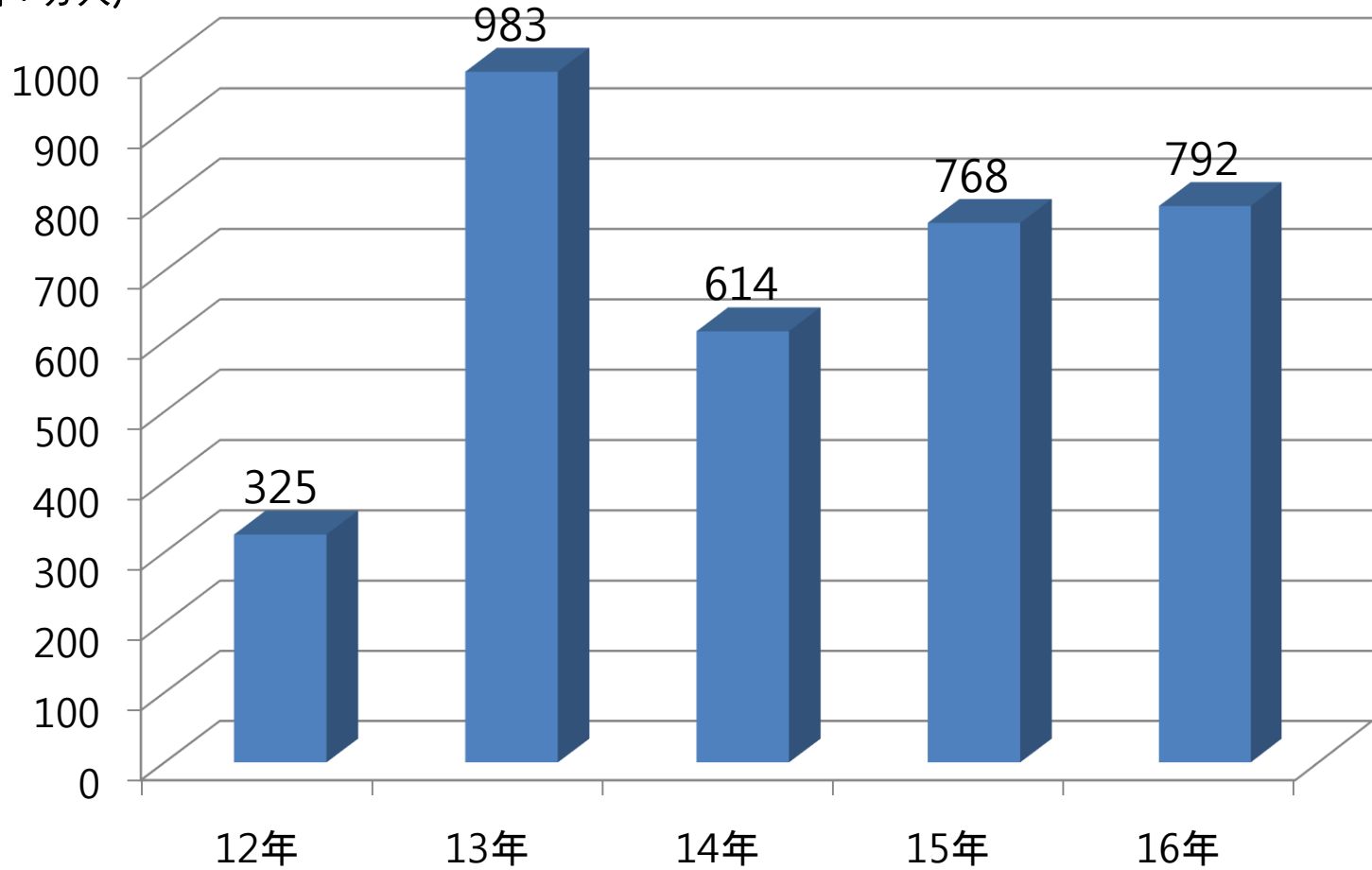
• 2020年を目標に韓国生態首都都市を推進中

- 2013年1月、生態首都順天2020 Master Planを確定
 - 都市再生を連携した元都心1番地旧東軒文化芸術の中心地を復元
- *順天部邑城1.5Kmの城郭路、探訪路を整備、歴史博物館の建設を推進
- 5ヶ所に外部作家85人を入店させ、これを拠点とする創作芸術村を造成し運営
- *順天型都市再生支援センターへの年間訪問客数:1,176人
- 観光地統合入場券、滞在観光トロリーバスの運営
- *青年観光解説士21人を採用

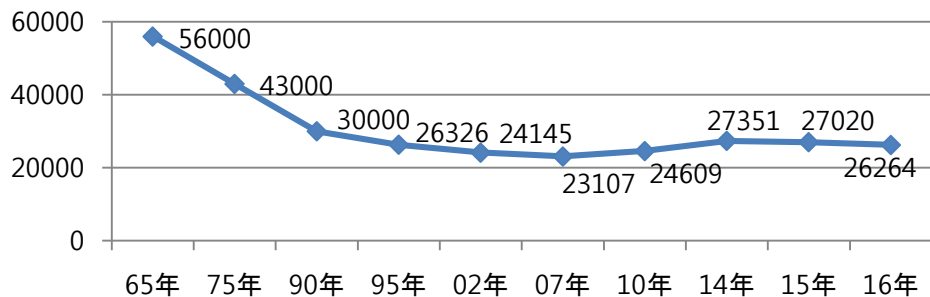


順天市年度別観光客数の変化

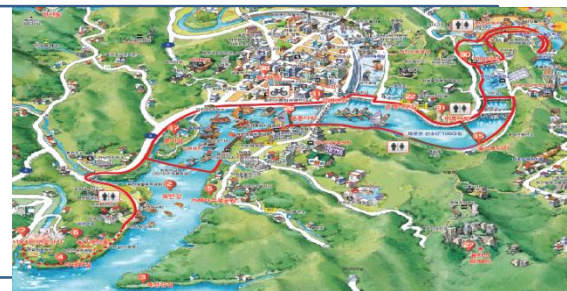
(단위 : 万人)



地方自治体における観光振興事例：江原道華川郡



- 韓国最北端にある接境地域の奥地に位置
- 北漢江最上流地域として各種の規制がかけられている
 - * 上水源保護区域、軍事施設保護区域、開発制限区域
- 発展要素が不在し、人口が引き続き減少



• 地域の背景及び郷土資源

- 地域発展の活路を探るため悩むべき状態
- 従来の浪川氷祭りの代わりに山川魚祭りの開催を決定('03年)
- 自治体の首長を含め地域の生き残りのためには **自然を生態**が必要だと判断

• 山川魚祭りの開催：冬の見どころ、商品化

- 市内を横切る川底で山川魚祭りを開催(20-23日間)
- 1万2000個の穴を開け、氷の上でワカサギ釣りを体験
 - * 水深2mのきれいな川底で泳ぐ山川魚を体験できる
- 祭りの間、毎日新鮮な1-2トンの山川魚を華川川に流す
 - * 釣りができない人でも1-2匹ぐらいは釣れる
- 直径10mのプールで山川魚掴み体験を提供
 - * サッカー場に設置された調理場で塩焼きやお刺身を楽しめる

• プログラムの進化

* 明確なターゲットを設定：家族

- こま回し、そり体験、氷サッカー、山川魚工房など -> 子供たちの体験など
- 氷彫刻広場、山川魚博物館、仙燈通りフェスティバル-> 見どころを提供
- * 姉妹提携を結んでいる中国のハルビン氷祭りに彫刻技術師の作品を展示
- 自治体の首長を含め地域の生き残りのためには自然の生態が必要だと判断

• 全国初の地域貨幣を導入

- 1996年、全国初「故郷商品券」を導入
 - * 05年12月、「華川サラン商品券」に変更
- 06年第5回から祭り体験料の一部を商品券でリワードする商品券を全国で初めて導入
 - * 商品券の流通は華川郡の地域内でのみ可能



・改善方策討論会を開催

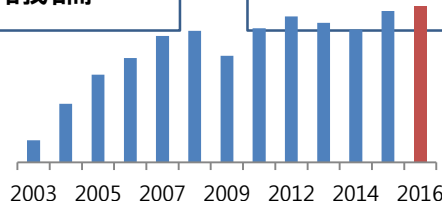
開催内容

- 時期：祭りの後、毎年実施
 - * 17年15回目を開催、改善方策づくり
- 参加：団体長、公務員、住民など
- 内容：祭りの点検 + 改善策を議論

17年の討論会の結果

- 市内より高い食事代の改善
- 新メニュー開発が必要
- そり体験場でのヘルメット着用方策づくり
- 新たなそりの制作が必要

・開催後の成果



03年

- 訪問客 22万人
- プログラムの運営収益3千7百万ウォン
- 経済的波及効果23億ウォン

17年

- 訪問客：156万人(外国人11万人)
- プログラムの運営収益20億6300万ウォン
 - * 農特産品交換券、華川サラン商品券
2万 1688枚
- 経済的波及効果990億ウォン
 - * CNN世界7大ミステリーの一つ

*11回連続観光客100万人を創出





<参考> 連携プログラム：華川スタイル

• 感情コンセプト：感情テーマ文学公園

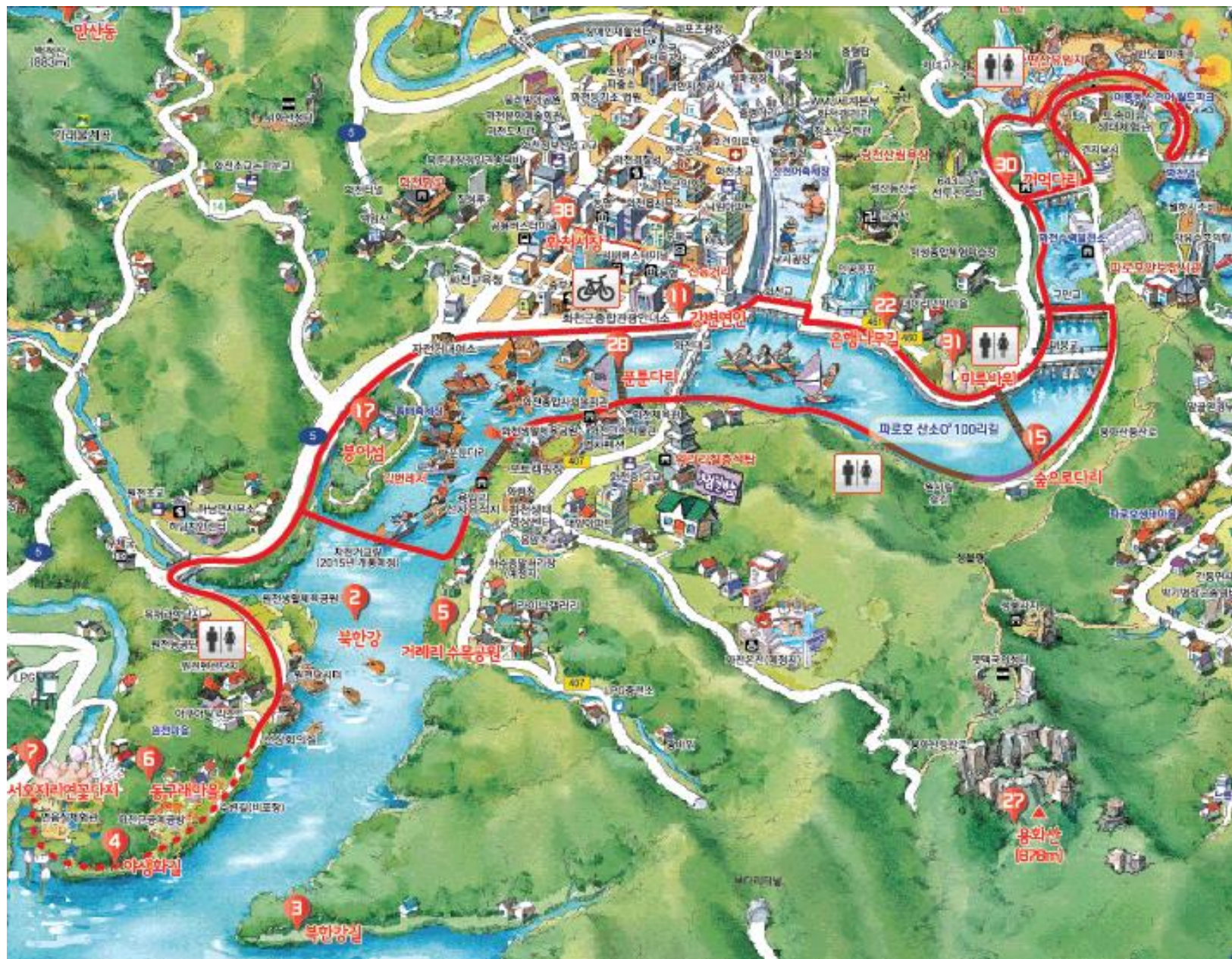
- 有名な小説家李外秀を招聘、村長に任命
- 華川感情村の造成(05年に設置スタート、26億ウォン)
- 毎年文人のみならず一般客の誘引要素
- * 李外秀文学館、文学論特別講義、散歩道など
- * 画家イム・ジホ、イ・ジョンイン、イ・ジェホなどを誘致



• 感情コンセプト：破虜湖酸素百里道

- 破虜湖酸素百里道の造成(10年完工)
 - * 水辺にデッキ設置後、道を連結
- 破虜湖百里道歩き大会の開催
 - * 平時、観光客の訪問
 - * 破虜湖力ヌー大会の開催連携
- インフラ投資制限感情ミュージアムなど





4. 地方自治体における観光振興が示唆する点

✓ 競争的警戒(Competitive Caution)の克服



✓ 地域資産(Regional Asset)の特化、商品化

他の地域が模倣したり、代替の可能性が低い地域のembeddedness
高い資産の商品化、place marketing

✓ 地域資産と連携した商品化 ⇒ 認知度、ロイヤルティーの向上 ⇒ 交流人口の増加

- ✓ 行政、住民、市民団体の協業による観光戦略の推進
 - 長期ビジョンの下で首長の交代に関係なく持続的に推進

ご清聴ありがとうございました!